令和５年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開】

下記事例を読んで、課題①②に取り組んでください。

No.：　　　　　　　　　　　氏名：

|  |  |
| --- | --- |
| 事例 | 事例１　Aさん　６０歳代男性　統合失調症　　　　　認知症の８０歳代後半の母親と２人暮らし　　　　　家賃収入等もあり、経済的には裕福　　　　現在関わっている支援者　　　　　母親のケアマネ・デイサービススタッフ・ヘルパー　　　　　母親の兄弟といとこ・隣人・民生委員 |
| 相談の状況 | 【相談までの経緯】・ケアマネが自宅訪問をすると、認知症の母親が便まみれの布団の上でぐったりしていた。・Aさんに話を聞くと、「昨日はご飯も食べたし・・・どうなったかは知らん」と言うばかりであった。母親を病院に連れて行こうと提案すると「自分は今から散髪に行くからいけん。１０時にはいかんと行けん」と言って、さっさと出て行ってしまったとのこと。・ケアマネは親戚の人に連絡をして、母親を病院受診させ、ショートステイを手配したものの、Aさんの母親への対応は高齢者虐待ではないか、統合失調症のAさんにどのように関わったらよいか、と主任相談支援専門員に相談してきた。【初回相談】・ケアマネが抱いている危機感1. 母親の健康状態の悪化の可能性
2. 高齢者虐待の可能性
3. ゴミ屋敷の状況による火災のリスク

・ケアマネの話を聞いたうえで、ケアマネと主任相談支援専門員とでAさん宅を訪問し、Aさんの話を聞いた。・Aさん宅のトイレや風呂はヘルパーが掃除をしているが、トイレは毎日汚れている状態。台所は、荷物やサプリメントが床中にあふれていた。また、汚れた食器も流し台にあふれかえっていた。母親の居室や廊下には便がこびりついている状態で不衛生だった。Aさんに、ヘルパーに掃除をしてもらうことを提案しても拒否するが、いらない荷物は捨てたいと話していた。・母親の健康状態について話すと、Aさんは「自分は一生懸命やっている。何が悪いか」と怒る状態であった。【２回目の相談】・ケアマネと同行訪問して、ケアマネから民間のゴミ収集業者の紹介をしてもらった。Aさんはケアマネの提案を受け入れたが、業者との話し合いで、その前に必要なものと不必要なものを分別しておかないと、業者は入れないということであった。誰がごみを分別するかが今後の検討課題となった。・主任相談専門員は、少し台所を片づけながらAさんと話をしたが、Aさんはゴミの分別はできない、捨てられない性分だということがわかった。・ケアマネは、統合失調症のAさんと話すのは怖いと感じている様子だった。また、障がい理解ができておらず、Aさんに理解できるような話し方が出来ていなかった。 |
| 課題① | ・事例を読んで、主任相談支援専門員として、誰とつながってどのような支援をしたらよいと思いますか？ |
| 課題② | ・ゴミ屋敷という問題を地域課題としてとらえると、協議会を使ってどのようなメンバーで話し合い、具体的にどのような解決の糸口を見つけますか？ |

研修初日、コピーを２部ご持参ください。

令和５年度主任相談支援専門員養成研修　事前課題

【地域援助の具体的展開】

現在、支援を展開しているケースから2事例を選定し、事例毎の地域課題を３つ以上抽出して下さい。

No.：　　　　　　　　　　　氏名：

|  |  |
| --- | --- |
| 事例（例） | 年齢：40代半ば　　性別：女　　障害名：精神　　手帳：1級　　障害支援区分：４利用福祉サービス：自立生活援助事例概要：幻覚妄想活発（両親に対する被害妄想もある）　対人関係が苦手でひきこもりがち　両親が亡くなったら単身になるので、孤独感や不安が強い　治療に対しては拒否的だがなんとか服薬はできている　お菓子作り、料理、編み物が得意ニーズ：自分を助けてくれる人がほしい　自分ができることで人に喜んでもらいたい　　　　障害のある人ばかりが集まる場所には行きたくない※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | 1. 定期的に誰でも参加できる40～50歳代の女子会をしている場所がない
2. 手編みの小物をつくるワークショップができるような場所がない
3. 家族と距離を置くための精神障害でも使えるショートステイがない
 |
| 事例１ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：利用福祉サービス：事例概要：ニーズ：　　　　　※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 |  |
| 事例２ | 年齢：　　　性別：　　　障害名：　　　　手帳：　　　　障害支援区分：利用福祉サービス：事例概要：ニーズ：　　　　　※その他、必要と思われる事項 |
| 地域課題 | ② |

研修初日、コピーを２部ご持参ください。